



日本共産党青梅市議団

青梅市議会議員

みねざき拓実 市議会報告

暮らしの相談、法律相談(要予約)は、お気軽にどうぞ!

2022年1・2月

連絡先

070-5590-6081

新型コロナ対策 生活困窮者対策 対策の強化・支援が必要です

緊急要望

12月14日緊急要望を市に提出

感染拡大に対応するため医療・検査体制の強化を
○希望する市民がPCR検査を受けられるようにしてください。○学校など、集団感染の危険性がある場所でスクリーニング検査を行ってください。○市立総合病院や市休日・夜間診療所では、引き続き医療機関内での感染対策を徹底するとともに、効果的な医療機器の導入や人員・設備面の改善など、体制を強めてください。○市立総合病院の職員を対象に、慰労金を支給してください。○コロナワクチンの3回目の接種について、可能な限り前倒ししてください。



困窮する市民に行き届く支援を

○子育て世帯への臨時特別給付金は、全額現金での給付とし年内に支給してください。○子育て世帯への臨時特別給付金について、所得制限により給付を受けられない世帯にも、支援策を検討してください。○子育て世帯に限らず、コロナ禍で影響を受けている市民に給付金を支給してください。○生活保護制度や困窮者支援策について広報を強めてください。○困窮者支援策を充実させ、支援に取り組む民間団体との連携や団体活動の支援を行ってください。○年末年始に困窮した人について、宿泊場所の確保などの支援を行ってください。

上記の施策について市として積極的に取り組むと共に国や東京都に財政支援を要請してください。

米軍機

うるさい時は市役所へ

夜でもOK!

市役所電話 22-1111

市民のみなさんから「米軍機がうるさい」「でも、どうしたらいいのかわからない」という意見をたびたび伺います。

みなさん、そのような時はぜひ、青梅市に連絡してください。青梅市は、米軍機についての意見や情報が寄せられた場合、全て防衛省の横田事務所にその旨を連絡します。市への連絡方法は電話でも、市ホームページ「市民の声」でも結構です。

みなさんの声を届けることが大事です

市役所に電話したら「米軍機がうるさいので電話しました」とお伝えください。夜でも守衛さんが内容を聞き翌日、担当部署に伝えてくれます。後日でもかまいません。



7月に6機目が配備されたオスプレイ。その機体は12月にトラブルを起こし、館山空港に緊急着陸。2週間以上たって、ようやく横田基地に戻ってきました。

新病院建設の進捗率は10.5%

2021年11月時点

南棟のあった場所に地下1階、地上8階建ての新病院本館を建設します。一時は入札が不調に終わり、建て替えができるか心配しましたが、全体を1期工事と2期工事に分けて1期工事分だけの入札を行い2020年12月に144億7754万円で業者が決まりました。その後、感染症対策のために約5億円かけて設計変更しました。発熱外来の設置、感染症棟のゾーン分け、全館的な空調設備の見直し、感染リスクの高い共用トイレを減らすために4床室内へのトイレの設置などです。

昨年11月時点の進捗率は10.5%です。今後の予定は2022年4月までに地下の躯体工事を完了させ、地上の躯体工事に入ります。10月までに地上躯体工事を完了させ、新病院本館の引渡しは2023年7月末の予定です。本館引渡し時点での進捗率は94.6%であり、その後、現



昨年9月27日、総合病院建替特別委員会で現地視察をしました。南棟地下躯体の解体工事中です。

完成イメージ図
「新病院基本設計」
(概要版)より



新棟の一部改修工事などを行い、2024年7月末に工事が全て完了する予定になっています。

私が注意してみたいことは、地元業者へ仕事が回っていくかどうかということです。この点、これまで総合病院建替特別委員会でたびたび求めてきました。昨年6月、元請け業者との間でどのような取り決めになっているか聞いたところ「工事の契約図書に、本工事が地域における重要な事業であることを鑑み、青梅市内企業の有効活用、下請け、資材や物資等の調達など、積極的に協力することと記載して契約した。現在までに交通誘導員や鉄筋工事、一般廃棄物処理やガス工事、給水・排水管工事などの下請け人を市内業者として活用している」という答弁でした。今後も定期的に市内業者を使っているか確認していきます。

コミュニティバスなど公共交通の充実を



市内にはいくつかの公共交通空白地域があります。この空白地域を解消していくことが大きな課題です。羽村市や入間市などの隣接自治体ではコミュニティバスを走らせていますが、これを活用できないか質問しました。入間市に接している今井地域の一部や羽村市に接している河辺地域の一部は、人口が多いにもかかわらず路線バスのバス停がありません。運行費を払っても市内の空白地域に他自治体のコミュニティバスを走らせることが出来れば、この地域の市民の足を確保することが出来ます。入間市のコミュニティバスは

折り返し場所の関係で、青梅市の原今井が始発になっています。自治体間は道路でつながっているので、公共交通の問題を考えるにあたっては、自治体間を厳格に区切って考えなくてもいいのではないのでしょうか。

新しい公共交通計画を策定中

市内3000人を対象にアンケートを実施し、2023年3月の策定を予定しています。市民の要望が反映された計画になるよう注視していかねばなりません。



修復前

→
拡大



修復前

要望実現

ノジマ電気南側の歩道の隅に2cmくらいの段差があり、車が通るとガタンと音をたてていました。市に要望し修復してもらいました。



修復後